

気象庁 XML 電文の入手方法

2014年3月20日

先端IT活用推進コンソーシアム
クラウド・テクノロジー活用部会
上村 準也

入手方法の概要



- 公式サイトでの電文公開情報を見てください
 - http://xml.kishou.go.jp/open_trial/index.html
 - 「よくある質問」もあります
 - まずここだけブックマークすればOKだと思います
- 技術的なトピックに限って説明を加えるなら...
 - 「電文公開の仕組み」
- 実際の作成 & テストには以下のドキュメント
 - 情報提供に係る仕様とSubscriberの構築について

使えるソースコード(1)

- 第1回 気象庁XML利活用セミナーの発表資料に含まれています
 - 自由にご参照ください
- 気象庁XMLを入手しよう
 - PHPによる実装が発表資料に含まれています
 - サーバの構築手順もあります
 - 気象庁職員の方による最も詳しい資料です

使えるソースコード(2)



- 気象庁XMLをデータベースにためてみました
 - Javaサーブレットによる実装の説明が少し
 - サーブレット全体のソースコードは[ここ](#)にあります
- 気象庁XMLの配信サーバをたててみました
 - Google謹製のJava用PubSubHubbubライブラリの紹介があります

PubSubHubbub (PuSH) で[検索してもOK](#)

PubSubHubbubするべき



- PubSubHubbub は汎用技術
 - 習得すると他にも使う機会があると思います
 - 購読の実装は難しくはありません
 - 出版の実装は、ブログ等でプラグインの設定をするだけでできてしまいます
 - 実際、そのようにしてテストすることが奨められています

情報そのものの扱いについては
気象庁の方の説明をお聞きください